

楚子發母

【子發】校注子發、名舍。見『荀子』國風篇。楊慎注、子發、楚令尹、未知其姓。『淮南子』道原篇注、子發、楚宣王之將。楚之宣王は前三六九—三四〇在位。

【楚將子發之母也】校注此從『標目』歐下、故不謂『楚子發母者四字』。古也簡而有法如此。今本參差不一、蓋後人所竊改。

【絶糧】糧道を絶たれて食料が欠乏した。

【并分菽粒】菽粒、豆粒。衆人相共分す食菽粒也。

【并分菽粒】菽粒、豆粒。衆人相共分す食菽粒也。

【芻粟】スウクワン。芻、牛馬曰芻。芻、大家曰粟。芻、四部四画。粟、家部六画。

【穀】シヨリヤウ。上等の穀物。黍、禾部七画。粟、米部七画。

【内】ロイ。【歐】ロイ。

【越王句踐之伐吳】越が呉を滅ぼし、呉王夫差が自殺したのは前四七三年のこと。

【醇酒】ジュンシヨ。醇、酉部八画。

【自五】校注『淳宮舊事』、五下有借字。自、隹部五、五借字常。自、力部七画。

【善】ナウ。口部一画。

【穀】キウビ。校注『乾燥也』。

【自十】校注『淳宮舊事』、十下有借字。

【時不云乎】時、唐風、蟋蟀（ししつ）篇。時、不、云、乎、時、唐風、蟋蟀（ししつ）篇。時、不、云、乎、時、唐風、蟋蟀（ししつ）篇。

【樂】シヨ。好むこと。流、いにする無かれ、良士は休休。

【無荒】毛伝荒、大也。

【休休】樂伝安閑之貌。

【死地】補注文選注、引曹大家注曰、軍事險危、故爲死地也。

【其術】しかるべき正しい方法。

【時云】時、小雅、小宛篇。「なんちが子を教誨するに、穀をもってこれに似せん」。

【標註】百教訓其子不似而使爲善也。

【式】鄭箋用也。【穀】碎也。

【人力】部下の尽力。

【編於母德】母儀伝に列したことをいう。

【噬】ゼイ。口部一三画。かむ、かみくらう。

【咋】サク。口部五画。かむ、口でかむ。

楚將子發之母也。子發攻秦絶糧。使人請於王、因歸問其母。

母問使者曰、士卒得無恙乎。對曰、士卒并分菽粒而食之。

又問、將軍得無恙乎。對曰、將軍朝夕芻黍黍粱。子發破秦而

歸。其母閉門而不内。使人數之曰、子不聞越王句踐之伐吳

耶。客有獻醇酒一器者。王使人注江之上流、使士卒飲其下

流。味不及加美、而士卒戰自五也。異日、有獻一甕糗糲者。

王又以賜軍士、分而食之。甘不險噉、而戰自十也。今子爲

將、士卒并分菽粒而食之、子獨朝夕芻黍黍粱、何也。詩不云

乎、好樂無荒、良士休休。言不失和也。夫使人入於死地、

而自康樂於其上、雖有以得勝、非其術也。子非吾子也。無

入吾門。子發於是謝其母、然後内之。君子謂、子發母能以

教誨。詩云、教誨爾子、式穀似之。此之謂也。

頌曰、子發之母、刺子驕泰。將軍稻粱、士卒菽粒。責以無禮、

不得人力。君子嘉焉、編於母德。

〔参考〕「無恙」は一般に「つつがなし」と訓じているが、次のような

説がある。

『爾雅』釋詁。恙、憂也。〔注〕今人云無恙、謂無憂也。

『太平御覽』人事部。心。風俗通曰、俗説無恙、無病也。凡人相問無

病也。

『匡謬正俗』八。恙、噬人蟲也。善食人心。古者草居、多被此害。故

相問勞曰無恙。

『輟耕錄』無恙。神異經曰、北方大荒中有獸、咋人則疾、名曰恙。恙、

恙也。嘗入人室屋、黃帝殺之、人無憂疾。謂之無恙。

恙也。嘗入人室屋、黃帝殺之、人無憂疾。謂之無恙。